展望

21 世紀で最初に開催される 大会に臨み

出来 成人

電気化学が工業と科学（化学）の両分野において大きな役割を果たした 20 世紀から、新しい息吹が予感される 21 世紀へと時代が移る最初の年に、電気化学会第 68 回大会が神戸の地で開催されようとしています。昭和 15 年に関西支部が創立され、昨年末 60 周年の還暦を迎えた関西で、加えるに未曾有の都市直下型大地震に見舞われ、壊滅的被害を受けながら今日の姿まで回復した地で開催される大会に意義深いものを感じます。新しい世紀に向けての電気化学の新たな旅立ちに相応しいのかも知れません。

今日の電気化学のエネルギー変換の側面を代表する電池の分野では、19 世紀のボルタ電池を源とする実用電池の流れは、20 世紀後半から始まった燃料電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池に代表される新しいタイプの電池の研究開発、実用化に伴い、材料化学の応用・基礎分野の流れ集め、早瀬となり、それまでにない川幅で激しい流れとなっています。携帯機器、パーソナル・コンピュータを始めとする情報関連の普及、環境・エネルギー問題などの技術変革に起因する社会構造の急激な変化は、電気化学分野に追い風となり、毎回増える大会・年会参加者を会員として繋ぎ止め、また新たな会員を得ると共に、多くの電気化学関連分野の研究者、技術者に活躍の場を提供してきています。

電解、電池と社会への貢献の様子は異なって参りましたが、始まる新しい世紀は、確実に電気化学を始めとする科学・技術が人間社会と融合し、人類の平和と福祉に真に貢献する世紀となることが予想され、また強く求められております。地球環境、エネルギー問題など電気化学に連なる研究者・技術者の寄与がいろいろな場面でこれまで以上に期待されるものと思われます。EV など実用化が本格的に活発になる分野、バイオテクノロジーなどこれから益々期待される分野への展開も含め、新しい貢献の芽が見出される大会であって欲しいと願って止みません。

関西支部所属の会員の皆様の御支援、御協力の下、六甲を背景とした港町神戸に会員の皆様をお迎え出来ることを何よりも喜びと感じております。

六甲山麓にあり、十分な施設ではないかも知れませんが、参加者の皆様が活発に且つ心地よくご討論いただき、新しい芽を見つけていただける場と成りますよう努力いたす所存です。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

Shigehito DEKI
電気化学会第 68 回大会実行委員長
神戸大学工学部 教授